

## (臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

### [研究課題名]

特発性胸膜肺実質線維弾性症 (iPPFE: Idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis) における健康関連 QOL 質問票 St.George Respiratory Questionnaire (SGRQ) の尺度特性についての検討

### [当院研究責任者]

部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 松田 俊明

### [研究の概要]

特発性胸膜肺実質線維弾性症 (iPPFE: Idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis) は、原因を特定しえない間質性肺炎(特発性間質性肺炎)の一つで上肺優位に病変がみられ緩徐に進行し患者さんの健康状態は強く障害されています。日常診療において患者さんの健康状態を把握するために患者報告アウトカム(PRO: Patient reported outcome)の重要性は増していますが iPPFE における PRO についての検討はほとんどありません。St. George Respiratory Questionnaire (SGRQ) は、従来、慢性閉塞性肺疾患(COPD)の患者さんの健康状態を把握するために開発された質問票ですが、間質性肺炎のなかでも特発性肺線維症や膠原病関連間質性肺炎の患者さんの健康状態を把握するのに有用であることが報告されています。しかしながら iPPFE の患者さんにおける SGRQ の信頼性、妥当性や病気の進行を捉えられるかどうか(反応性)についての情報はこれまで十分に検討されていません。この研究では、iPPFE の患者さんにおいて SGRQ の信頼性、妥当性、反応性を評価することを目的としています。

[研究の方法] 2009年1月から2017年5月までの期間に多面的評価を行った

PPFE の患者さんが対象となります。

[研究組織]

この研究は当院のみで実施されます。

[個人情報の取り扱い]

収集する情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません

[問い合わせ先]

公立陶生病院 所属部署 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 松田俊明  
電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139